

ワークキャンプ 20170521-26

5月21日(日)

10時横浜を出発。快晴 スズキキャリーKC 4WDにリヤカー、コンクリートミキサー、コンプレッサー、関連する装置、水100L、を積んで出発。東名高速(横浜)―大井松田(寄り道)で降りて松田の家に(ゴーヤを植えて、先日畑に植えたスイカとサツマイモの苗を確認)。暴走族に遭遇!東名(大井松田)出口で数台のバイクが警察官の職質を受けていた。今時まだいるのかと、246方面に進むと200台以上のバイクが両側に駐車!困った連中で、



道路に寝ている奴もいて、通行の邪魔になる。カラフルなバイクに戦闘服、だけど!あれ?若者じゃ無いよ、中年でお腹が出てる連中!関わらないように、先に進む。

11時に松田の家を出て、R246から山中湖―精進湖―中央高速(甲府南―須玉)―清里―佐久を目指す。

途中、山中野営場(13時)に寄り道したが、誰もいないので山中湖方面に、すると大井松田で出会った暴走族が湖畔でたむろしている。この人達、乗ってるバイクが改造車で上手く走れない(整備不良)R246から山中湖まで何度も故障車を目撃!押し駆けしたり、エンジン調整したり、落ちた部品を拾うやつも、爆音はすごいけどなんとも哀れな連中!

河口湖を通過していると、今日はなんだか、カレーが食べたい気分で昼食はカレーに決まり!COCO壱・すきや・インドカレー(本場)と看板がならんでいたが、精進湖(13時)で「鹿カレー」の看板!これ面白そう、湖畔のレストランで食べてみました。

ウエイトレスさんが辛いけど大丈夫ですか?と言うが、大丈夫と思い、注文。出てきたのは富士山をデザインした白いご飯が真ん中で、周りにオレンジ色のカレー、鹿肉は4つぐらい他には夏野菜が入ったカレーでした。味は酸味がありさっぱりして、辛さもそれほどではなく美味しくいただきました。鹿肉はジビエらしく普段食べている肉とはひと味違います。

スズキキャリーKCの運転にも慣れて、快調です。特に改造したカーオーディオはいい音で、iPadの音楽を流してくれます。中央高速までは下り坂、オートマチックなのでエンジンブレーキの効きが、あまり良くなく、スピードがでます。日曜日の午後は(下り方面)すいているので、快調に運転できました。眠気が襲ってきたので清里で、珈琲タイム(コンビニ)。

そこに、100台ほどの暴走族(バイク)が上り方面に下っていきました。ジグザグに走り爆音を轟かせているが、何か寂しい感じ、パトカーが一台追いかけていきました。

15時30分に佐久に到着、つるやで買い物そして、山荘16時30分に到着!

まずは、掃除(テーブル、床)今回もあまり汚れていないが、窓際には昆虫(蜂、蛾、こがね虫など)などの死骸がある。夕暮れが近づくと、キツツキがドラミングしている。鹿が鳴いているが、姿は見えない。

今日は移動で疲れたので、簡単に夕食を済ませて、薪ストーブの横でうたた寝!(これが気持ちいい)22時に目が覚めたので、ロフトで就寝。



5月22日(月) 4時30分起床 外気温13℃ 室内20℃

夜明け前に鳥がもの凄く鳴いている、鳥の鳴き声で起きてしまった。日本茶が切れていたなので、紅茶を2杯飲みながら外を見ている、兜岩山に朝日が当たり出して、鳥の鳴き声は静になる。天気は快晴！朝のBSニュースでミサイルを発射したニュースと米大統領が中東訪問の話題！山荘にいと、不思議な気分。

8時から作業開始！軽トラックで運んできた荷物を下ろして、リヤカーの組み立て作業！アルミ製100kgまで積載可能、タイヤはノーパンクタイヤなので、安心です。早速、キャビンまで荷物を運搬！これで、資材や荷物を楽に運搬できます。今までは、玉切りした唐松を森の中から一輪車で運ぶ作業が辛かったけどこれで軽減されます。子ども達がキャンプサイトにテントやフライを運ぶのにも活躍しそうです。今回軽トラックで運搬したのは、リヤカー、コンクリートミキサー(電動)コンプレッサー、水100Lなどです。誰もいなくても、八重桜が満開、去年は時期が連れ手いたけど、今年は運良く見ることが出来ました。

山荘入り口から東側の沢に入る道(けものみち)が倒木で歩にくいので倒木の伐採を行う。沢に降りてみるとかなりの水量で水が流れている、蛙が鳴き出した。

9時頃に林道入口付近の昨年伐採した木を整理しに行く、現場で薪になりそうな(直径15cmほど)木を2mほどに切って軽トラに積んで運搬！今までは苦勞していた作業が楽になり、森の中では軽トラが活躍します。9月の予定している「野外力検定」に使う丸太も準備完了！気温が高いのでチェーンソーを使ったり木を運搬すると、直ぐに汗をかきます木陰で一休み。作業はゆっくり進めます。それに、珈琲を飲んで読書もしながら。

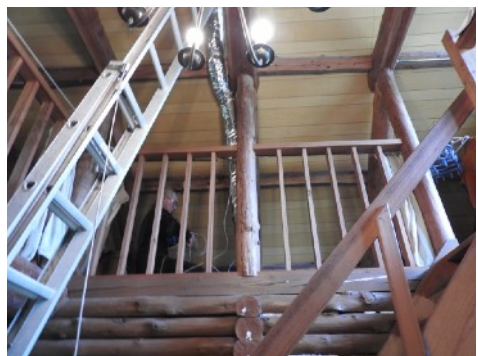
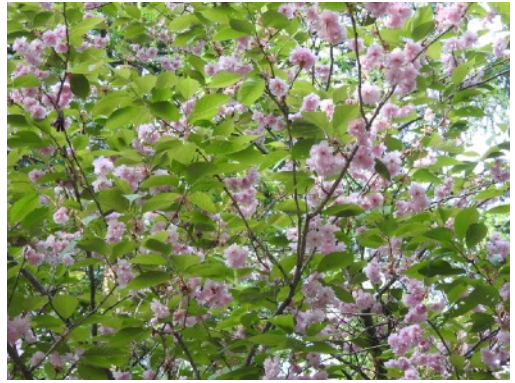
「自然欠乏症候群」山本竜隆著(医学博士)

リチャード・ループ氏が2005年に出版した「あなたの子どもの自然が足りない」(早川書房)の中で自然欠乏症候群という言葉を使っています。山本氏は現代の医学(西洋医学)では解明できない症状について、やはり自然が足りないからだといろいろな事例を示して説明しています。それは2400年前にヒポクラテスが指摘した「人間が自然から離れるほどに健康から遠ざかる」という指摘からも、納得できる内容です。

作業しながら、木陰で本を読んでいると、ここでの生活がまさに、自然の中での生活です。鳥の声に目ざめ、日が出てからゆっくりお茶を飲み、計画をした作業を進めて、日が沈む頃に温泉に入りそして美味しいお酒と料理を食べて友と語り寝る。

11時頃に運搬した薪をチェーンソーで50cmほどに切りそろえて、室内の薪置き場に運ぶ。

折本さんが12時30分に到着！昼食はミートソース  
今回はログハウスとキャビン(A)に暖気を送るファンを2台設置。キャビン(B)の電気配線を整備すること。二日間





の予定なので、今日はログハウスの工事から始める。まずはログハウスの天井（高所作業）にファンを固定、電源配線と暖気を送るフレキシブルダクトを固定しながら、東側の二部屋に送風するために、床（1階の天井）に穴を開け、送風口を設置した。16時30分ごろに今日の作業は終了！これから温泉に行って、夕食（チキンソテー・サラダ・ビールと赤ワイン）にしました。前は僧侶の修行について、信仰について話をしましたが、今夜はどんな話が出るか楽しみです。



5月23日（火） 4時30分起床 外気温13℃ 室内20℃ 快晴

何という鳥なのか？ 4時ごろになると、森に語りかけるようにソロで鳴く鳥がいてなんとも楽しげで、ベットの中で聞いている、今日も良い声で鳴いていた、お湯を沸かし紅茶を（日本茶を買い忘れた）飲んで、この原稿を書いている。

折本さんが6時頃に起床、朝食は葡萄パンとサラダ、ハムエッグサニーサイドアップ、スープ、ヨーグルト、野菜ジュース。私は野菜ジュースとヨーグルト。8時に作業開始、昨日の続きで折本さんはファンの取付作業。私は森の観察と「荒船不動尊」までの道を下見に行くことにした。（後で詳しく）



森の上部西側には少しくぼんだ谷があり、その向こう側が小高い丘になっている。今まであまり入らなかった場所だが、林野庁が測量して新しい杭が立てられていたので国有林と大自然のひろばの境界が明確になっていた。この場所は一番高い場所に成り雑木が多い、つる性の植物もまだあるので明日伐採したい。地形が平坦では無いので、滑車やロープを使って楽しいあそびの場になりそう、またツリーハウスや隠れ家を作るにも適している。森を歩いていると新しいアイデアがいっぱい浮かんでくる。

以前から地形図を見て「荒船不動尊」までの道を開拓したく、今日は天気も良いので下見に行くことにした。地形図で見ると、北側の山裾をたどると、等高線が一致していて不動尊までいけるように予測できる。しかし、森がどうなっているのか？北側の一番高いところから沢を渡り、国有地と民地の境界を東に進む。倒木が多く、湿った土地が200mほどあり地面にはフキが自生している。上り斜面を進むと見通しの良い林になり左側（山側）に大きな岩が現れた。その周りは湿地。左側の山肌は崩壊したように崩れていて、沢を形成している（今は水が流れていない）2m程えぐれた沢を渡るとその先は笹のひろばになっている。唐松とブナ類の林が続き、蔓性の植物が木に絡みついていた。少し上り坂でその先に空が見えて開けているようだ。風が前方からふいてくる、兜岩山が見えたと思ったら、急に視界が開けた。100m程の絶壁でその下方に沢が流れた場所に着いた。ここは荒船不動尊





の下にある堰堤で昨年から河川工事をしていた場所だ。ここから、左側の山裾をたどれば不動尊に着くだろう。ここまでの道が確認できたので、引き返すことにした。これでハイキングコースを作ることが出来る。

ログハウスに帰るとはどなく、尾方さんが来たのでキャビンの作業を開始。今日は天井貼りの仕上げを行う。新しく購入したコンプレッサーと釘打ち機を試してみる。釘は25mmと35mmが使えて、天井材や杉板の仕上げ作業には威力を発揮する。使ってみた感想は「素晴らしい」作業効率は上がり、時間も半分になった。それと、強力はエアガンで掃除も出来るので、サッシや溝に入ったホコリは瞬時に吹き飛ばすことが出来る。これは良いね！

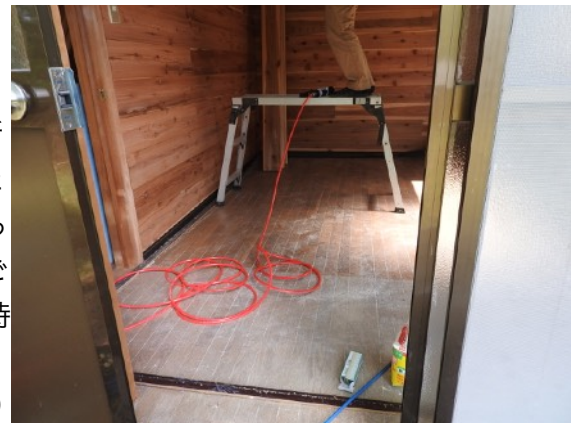
エア工具はほかにもいろいろとあり、便利になる。

折本さんはキャビンB（下）のスイッチ交換と配線整理。キャビンA（上）のファン設置作業を行う。途中で作業場所が重複してしまうので、ログハウス前の単管パイプで作った屋根を解体して軽トラに積み込む。案外簡単に出来てしまったので、驚いた。単管パイプとクランプを考案した人はすごいね！あんなに頑丈な構築物を作るのに解体するのも短時間で出来てしまう。

15時ごろに折本さんが作業を終えて、帰宅。二日間ありがとうございました。

天井の仕上げ作業を再開して、キャビンの清掃。明日もう一度、床を拭き掃除して仕上げることにした。

壁材の杉板が予定どおりに届かないので、壁の作業は次回6月に延期することにした。なかなか思い通りにはいかないが、キャビン東側の部屋はもキレイに仕上がりました。明日から、尾方さんの木工作业小屋作りを手伝うことにする。予定では26日に帰宅だったが、24日から25日は尾方邸の手伝いをして、1日早く帰るように変更軽トラックに単管パイプを積んでしまったのであまり遠くに行けないので、安全を配慮して近くの温泉でゆっくり、今夜の温泉は「一万里温泉」に決定！。帰り道で明日からお世話になる尾方家への手土産を買い（ツルヤ特性ジュース）ログハウスへ帰る。食材の余り物で夕食を済ませて就寝。ワークキャンプ三日目で体もなれてきて、眠りも深くなる。





5月24日(水) 4時40分起床 外気温12℃ 室内20℃ 晴れ 薪ストーブをつける

今日も朝から鳥の声で起きた。室内では熊蜂の羽音が・・うるさい。いつもどおり、お茶を飲んで、朝食は野菜ジュースとヨーグルト。本を読み、6時に作業開始！最初は山裾の西側にある小高い丘付近で、つる性植物の伐採。チェーンソーで10本ほど片付けた、7時からキャビン(A)の清掃作業を行う。天井材の白い粉と鉋くずなどを、箒と掃除機で吸い取り、ぞうきんで拭き掃除。

ベニヤ張りだった室内が天井は白くなり、壁は無垢の杉板を貼ったのでとてもきれいになりました。いい香りがしています。

9時に尾方邸に向けて出発。今日から二日間の予定で木工作業小屋の建築を手伝います。軽トラックにはナビがないのでいつもの道ではなく、山の位置を見ながら道を探して移動しました。地方の道は昔の街道と、新しく広いバイパス、新しく作った町に抜ける道などがあり、コツをつかめば意外と簡単に近道をすることができます。また、バイパスを通過してしまうと、見落としてしまう昔の旅籠道など中山道の一部を通過して千曲川を渡り、東御へ向かった。少し寄り道をしたので10時過ぎに到着。途中で見事な藤棚やこの季節のツツジが見事に咲いていました。

作業場の建築は屋根のを貼る作業と外壁の足場作り。コメリ(資材館)大型店に行って、資材の購入から、ここでも軽トラが活躍。長い材料や重量物など簡単に運搬できます。

仕入れが終わったら昼食(ご飯に、露の煮物、肉じゃがなど) 美味しかった！

足場作りを終えて、足りない部材(長い単管パイプとクランプ)を買いにカインズへ。

16時作業終了！あとは明日の午前中に残りの作業をする予定です。

5月25日 雨 気温14℃ 少し寒い

残念ですが雨のため、高所作業が行えないのでそれに雨足が強く今日の作業は中止となりました。そこで、一日早く横浜に帰ることにした。8時30分に尾方邸を出発。13時30分横浜着！

5月のワークキャンプ終了です。  
次回は6月24日から29日の予定

